

平成23年度「食育推進ネットワークやまなし交流会」の概要

1 日 時：平成23年12月14日（水） 14：00～16：30

2 場 所：甲府地域センター 第一会議室

3 出席者：食育推進ネットワークやまなし参加者 19名
農林水産情報交流モニター 4名
山梨県
甲府地域センター長、総括管理官（消費・安全）ほか

4 内 容

◇講 演

「栄養士として被災地支援にかかわって」

山梨赤十字病院栄養課長

深澤 幸子 氏

◇情報提供

「被災地支援について」

パルシステム山梨 事業・活動支援部 事業開発課

課長代理

大河内 和弘 氏

パルシステム山梨 事業・活動支援部

根岸 美和 氏

◇意見交換・交流会

5 意見交換及び質疑応答の概要

深澤氏：

講演の補足ですが、3か月ほど上げ膳据え膳で食事をいただいていた80代の女性は、仮設住宅に移った時、家事の仕方が分からなくなりました。震災のショックもあったのですが、普段やっていることがいかに大事かという事を痛感させられました。



参加者：

深澤様の支援された避難所にはコーディネーターとして、全体を管理するような方がいらっしゃったという事です。

深澤氏： 現地では社会福祉協議会の方々がボランティアの取りまとめを行っていましたが、皆さん専門分野があり、専門外となるとわからないような状況も見受けられました。それでも指示をされる方が中心になり、指示を受けるスタッフがチームで活動できるようにする事が大事です。また、医療メーカーより医療用の特殊食品を提供していただいたのですが、現地では使いこなせない状況もあったようで、適材適所に配置されていればと感じました。

やはりチームとしてそれぞれの専門知識を活用する事が理想です。

参加者： 高根クライנגアルテンにおかれましては、農業体験などで小麦や野菜を栽培し地産地消を実践されていらっしゃるようですが、具体的な活動内容を教えてください。

高根クライנגアルテン企業組合： 高根クライングアルテンでは、4.2ヘクタールの広大な敷地の中で市民の皆さんに貸し出す農園があり、遊休農地を有効に活用することを考えていました。そこで小麦を秋にまいておけば、来年の6月までは、ほ場管理も楽になりますし、収穫したものを小麦粉として提供するという考えで始めました。今では農業体験で都内からおいでいただいた学校の皆様に、ほうとうやパンとして提供し好評を得ています。

グループ長： 耕作放棄地の解消に向けましては、戸別所得補償制度を設けまして、大豆や麦類、または飼料作物の作付を行い、家畜に与えることで自給率の向上等の取り組みを行っています。

また、消費者の皆様には、賞味期限が切れた食品を廃棄される事があり、これが食品残渣になってしまうわけですが、これを減らしていくことも自給率の向上につながると考えます。

地産地消については、フードマイレージの観点から輸送に係るCO₂の排出削減につながり環境に優しい事から農林水産省においても推進しています。

参加者：



戸別所得補償制度についてですが、友人たちが米の作付を自由にできなくなるのは困るから補償を受けないという話を聞きました。

このことについてはどうなんでしょうか。

グループ長： 補償を受けるには、米の場合は生産数量目標に従って、販売目的で生産（耕作）を行った農家が対象です。生産数量目標に従わない場合には補償の対象となりません。

参加者： 山梨県における牛肉について、放射能セシウムの影響はなく安全でしょうか。

山梨食肉流通センター： 山梨県では、牛の放射性セシウム全頭検査しており、放射性セシウム値は全て基準値内です。県民の皆様に安全・安心な牛肉を提供しています。なお、本県の豚肉は1頭検査して、基準値以下です。

6 参加者の感想・意見

- ・食は生きる源です。日常では考えられない様な災害時の現状がよくわかったが、職場の理解がないと支援活動は出来ませんが、本人（深澤さん）の熱意がすばらしい事と感じました。避難所に栄養士の視点で活動することを初めて学びました。あたたかい食事の提供は大切なことですね。
- ・TPPに関する情報をもっと提供出来る体制を作ってほしい。TPPに参加しようと、不参加であっても、食の安全基準は守ってほしい。
- ・被災地支援のお話を初めて生で耳にすることができてよかった。県内の食育についての話を聞く機会が欲しい。
- ・貴重な講演等を聞き、改めて食育＝食べることの大切さを感じました。食により人の性格も変わってしまう。TVでは放映できなかった大変なご苦労話が聞けて良かったです。ありがとうございました。
- ・交流会の対象人数が少ないのがもったいないような気がした。せっかくの講演会がもったいないので、もう少し対象が多くてもいいのでは。
- ・被災地支援のむずかしさがわかりました。
- ・日常はもちろん、非常時における食の難しさ、大切さを感じる事ができ貴重な話だった。
- ・意見交換の場をもう少しほしかったと思いました。